

【3語で位置特定】 What3Words

①要約：

この企業は、会社の位置情報を緯度経度ではなく、3つの単語で特定するシステムを開発しました。これにより、特定の位置をピンポイントで指定することができます。このシステムはスマートフォンのアプリとして提供され、さまざまな業界で利用されています。また、25カ国で利用可能なサービスとして展開されています。

②目的：

この発明の目的は、位置情報を緯度経度ではなく3つの単語で特定することにより、位置情報の伝達をスムーズにすることです。従来の住所や緯度経度では特定しづらい微妙な位置でも、3つの単語による特定が可能となります。企業の集合場所や待ち合わせ場所の指定に利用されるほか、自動車や物流、交通旅行などの業界でも利用されています。

③新規性：

この発明の新規性は、位置情報を緯度経度ではなく3つの単語で特定するというアイデアにあります。従来の固定観念にとらわれず、地球全体を57兆個のブロックに分割し、それぞれのブロックを3メートル×3メートルの単位で特定することで、位置情報を短い単語で表現し、特定することができます。

④独自性：

この発明の独自性は、従来の住所や緯度経度に依存せずに位置情報を特定する点にあります。3つの単語を組み合わせることで特定される位置は、地球上どこでも一意に決まります。また、このシステムは25カ国で利用可能であり、多様な言語に対応しています。

⑤経済価値：

この発明は、位置情報を特定する手段として広く利用されており、自動車や物流、交通旅行などの業界においても採用されています。多くの企業やサービスがこのシステムを活用することで、位置情報の伝達や特定の効率化を図ります。そのため、この発明は経済的な価値を持ち、競争力を高めることができます。